

RT工法(はく落防止対策工法)
NETISを活用したトンネル補修工事に採用される

国土交通省では、工事予算を無駄なく、有効に使っていくために、工事の規模や内容等に合わせて入札方式を変えています。NETISに登録されているレジテクトRT工法「コンクリート構造物表面被覆工法」(KT-050036-A)は、東京国道事務所発注の工事希望型指名競争入札においてその効果を発揮しました。工事希望型指名競争入札とは、地域特性、施工実績、希望工事等を勘案したり、業者リストから技術資料の求めるものを概ね20社(ゼネコン)程度選定し、提出された技術資料を審査によって10社程度に絞り込み入札を行なう仕組みです。ゼネコンの落札金額は2番手でしたが、技術審査ではレジテクト工法の「工期短縮」が大きなポイントとなり採用になりました。関東地方整備局でのレジテクトRT工法の採用は、本現場が初めてです。施工は東邦ビルト(株)を中心に(株)アクトクリエイティブトラストが応援をする形で行ないました。

工事はボックスカルバート製2車線トンネルの天井部への剥落防止工です。車線ごとに道路規制を実施し、高所作業車9台を投入、連日夜間作業という悪条件の中、約5,000㎡を下地処理(グラインダーによるサンディング)からトップコートまで実質74日で完工しました。

高所作業車での飛散対策養生方法は東邦ビルト(株)がこの現場に適した作業台を考案・作成し、1日の施工面積を大きく伸ばすことに成功しました。特に養生が難しかったハンチ部照明周りは、高所作業車2台を駆使した方法を採用し、施工技術と経験の高さが垣間見えました。

今後も国土交通省に関する採用は、NETIS登録が大きな鍵となります。平成18年8月よりNETISの制度は大きく変わり、今までの申請情報の上に評価情報がラインアップされました。今までの申請情報だけでは有用な新技術の選択が困難であったため、事後評価の実施を徹底することで新技術のスパイラルアップを図る事が目的です。評価情報にランクアップするためには4つの評価方式があります。この評価方式において活用効果調査が10件蓄積することにより更に評価を行い、より良い技術であれば、国の設計比較対象技術、活用促進技術等に認定されます。はく落工法で登録されている工法は、現在レジテクト工法も含めて6工法しかありません。是非、有用な活用をお願いします。



東京支店課長 SVリーダー
小倉克之

施工地域：東京都大田区
工期：2006年12月
工法：レジテクトRT-2工法
施工会社：東邦ビルト株式会社

レジテクトに関するお問い合わせは下記へお願いします

株式会社ダイフレックス レジテクト本部

- | | | |
|------------|------------------|------------------|
| 東京支店/事業推進部 | TEL 03-5381-0666 | FAX 03-5381-0670 |
| 大阪営業所 | TEL 06-6292-0533 | FAX 06-6292-0522 |
| 札幌営業所 | TEL 011-708-7734 | FAX 011-746-3120 |
| 中部営業所 | TEL 058-296-3271 | FAX 058-296-3272 |
| 福岡営業所 | TEL 092-433-1090 | FAX 092-433-1101 |

レジテクト詳細はホームページをご覧ください

<http://www.resitect.net/>



12台の高所作業車を効率よく配置し、交通規制時間内に計画面積の施工を完了しました



EE東北'07 5/30・31

今年も東北ブロック会5社で共同出展
日新産業(株) (株)テラ (株)丸高
(株)ナカムラ (株)ダイフレックス

ENGINEERING EXHIBITION

EE東北'07

「エンジニアリング」の英訳、Engineering Exhibition(エンジニアリング展示会)という訳で、工展は、建設技術・製品の展示・交流の場として、建設関係者を中心に、展示・情報交換の場として、その重要性はますます高まっています。展示・情報交換の場として、その重要性はますます高まっています。

夢メッセみやぎ (仙台市宮城野区3丁目1-7)
●JR 仙台駅南口徒歩10分 ●シャトルバス運行 ●駐車場あり

新技術展示会・新技術討論会

TEL 022 (395) 8047 URL <http://www.thrustil.go.jp/taugi/>



→マイナス10度・夜間作業という過酷な環境を克服し、床版裏からの剥落の心配は一掃されました



(株)タナカ商事は北海道旅客鉄道株式会社(JR北海道)に剥落防止対策を目的として、レジテクトRT-2工法の採用をいただき、本年2月から3月に施工しました。

札幌営業所では今年度JR北海道発注物件で約3,800㎡をレジテクト工法にて施工しましたが剥落対策工事は初めてでした。

北海道の2月はまだ厳寒期で、特に今回施工を行った現場(白糠町)は、積雪量はさほど多くはありませんが、日中でも最高気温がプラスにならず、夜間は-10℃以下になる大変条件が厳しい施工現場でした。本現場ではレジテクトBN会員である(株)前田理工の協力を得て、昼夜の2回に分けて施工を行いました。最初の施工は夜間工事で約260㎡を4時間30分以内で作業を行わなければならず、段取りに大変気を使った現場です。

材料は一液手塗りウレタンであるT-50Nの硬化時間がポイントでしたが、24時間後にはほぼ硬化しており、またレジプライマーPW-Fの硬化も作業に支障をきたすことはありませんでした。

初日、高所作業車のアームが不調になるというアクシデントがありましたが、夜間及び日中での施工を工期内に終わらせることが出来ました。この時期、氷点下の低温状況で短時間で完工できる工法は他に無く、レジテクトの特徴が十分に発揮された現場でした。

札幌営業所所長 SVリーダー 国定達雄

施工地域：北海道白糠郡白糠町
工期：2007年2月21日～3月17日
夜間：23:30～04:00 9日間
昼間：08:30～16:30 5日間
工法：レジテクトRT-2工法
施工会社：(株)タナカ商事

東北新幹線の排水路に手塗りウレシア採用

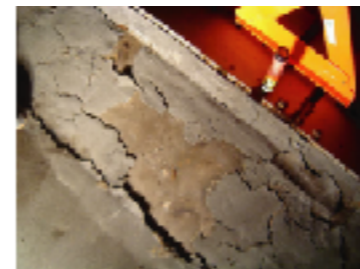
施工現場は東北新幹線大宮駅13番線路と14番線路の間に走る雨水排水路の防水工事です。現状は、手塗りポリウレタンの密着工法で防水が施されておりました。しかし、写真の通り浮いている部分が多く、ドレーン回りは、ほぼ100%不具合が発生している状態でした。さらに、防水層には、トップコートがないため紫外線による経時劣化が促進させたと考えられます。

補修工事は、防水層の不良部と健全部の見切りが難しかったため、全面撤去し、新たに防水を行うことに致しました。防水材は、レジテクトRP-L(ポリウレシア流しタイプ)、立上りはレジテクト5000パテで施工いたしました。

この材料の選定理由は、施工時間が3時間半という非常に厳しい条件だったので、ポリウレタンよりも硬化が早く、耐久性に優れたポリウレシアを採用しました。コテ筋もセルフベリング性に優れ、吹付け施工が出来ない床面での短時間施工には最適な材料です。

本現場のように施工直後に新幹線の走行が開始される場所では、仕上げ面への埃や水滴の付着を防ぐため硬化時間の更なる短縮が望まれます。

東京支店 SV 三浦 顕滋郎



表面劣化が進む施工前の状況



グレーのトップで綺麗仕上がる

JR九州でRT工法採用!

福岡市西区(姪浜)と佐賀県唐津市(西唐津)を結ぶJR九州筑肥線の高架橋が老朽化の為、九州旅客鉄道(株)唐津鉄道事業部にて剥落対策工を検討されていました。弊社は(株)さとうベネックと共同で工務課へプレゼンをし、その後試験施工を東唐津駅で平成18年2月に行いました。性能の評価を頂き、高欄部の剥落対策工法としてレジテクトRT工法が採用されました。

筑肥線は福岡市営地下鉄(空港線)と直結して利用客も多い線ですが、その為住宅地を走っており高架部が全長の30%程度占めています。本工事も施工延長14kmを予定しており、福岡側と唐津側から各2社にて施工を進めています。9月着工以来、姪浜・下山門間上下線及び姪浜駅と順調に約1,200㎡受注しています。今回採用された工法は弊社を含め2工法となつていますが、施工の早さを武器にレジテクトの施工シェアを伸ばしていきたいと考えています。



姪浜駅付近のRT工法完成現場

施工地域：福岡県福岡市西区
工期：2006年9月
工法：レジテクトRT工法
施工会社：(株)さとうベネック (アイテック(株))

さとうベネックの協力のお蔭で、JR九州での実績を初めて得る事ができました。今後もBN加盟各社と協力し、新規採用を頂けるよう努力して参ります。

福岡営業所所長 SVリーダー 大西 政幸